

利用のご案内

●施設

名称	史跡赤土山古墳
史跡指定	平成4年12月15日
所在地	奈良県天理市櫛本町2920-1
指定面積	11,504.36㎡
築造年代	4世紀後半
規模	墳丘現存長 106.5m
墳形	前方後円墳（後円部先端に造り出し）
整備	家形埴輪祭祀遺構を実物大で復元
管理団体	天理市

●交通

鉄道	JR櫛本駅下車 東へ徒歩20分
バス	奈良交通櫛本停留所下車 東へ徒歩10分

※駐車場はございませんので、鉄道・バスをご利用下さい

※赤土山古墳付近は道路が狭隘ですので、観光バス等の進入はご遠慮ください。

●問い合わせ

〒632-0017 441番地2
奈良県天理市田部町320番地
天理市教育委員会事務局文化財課
TEL 0743-65-5720



わに氏の里

史跡 赤土山古墳

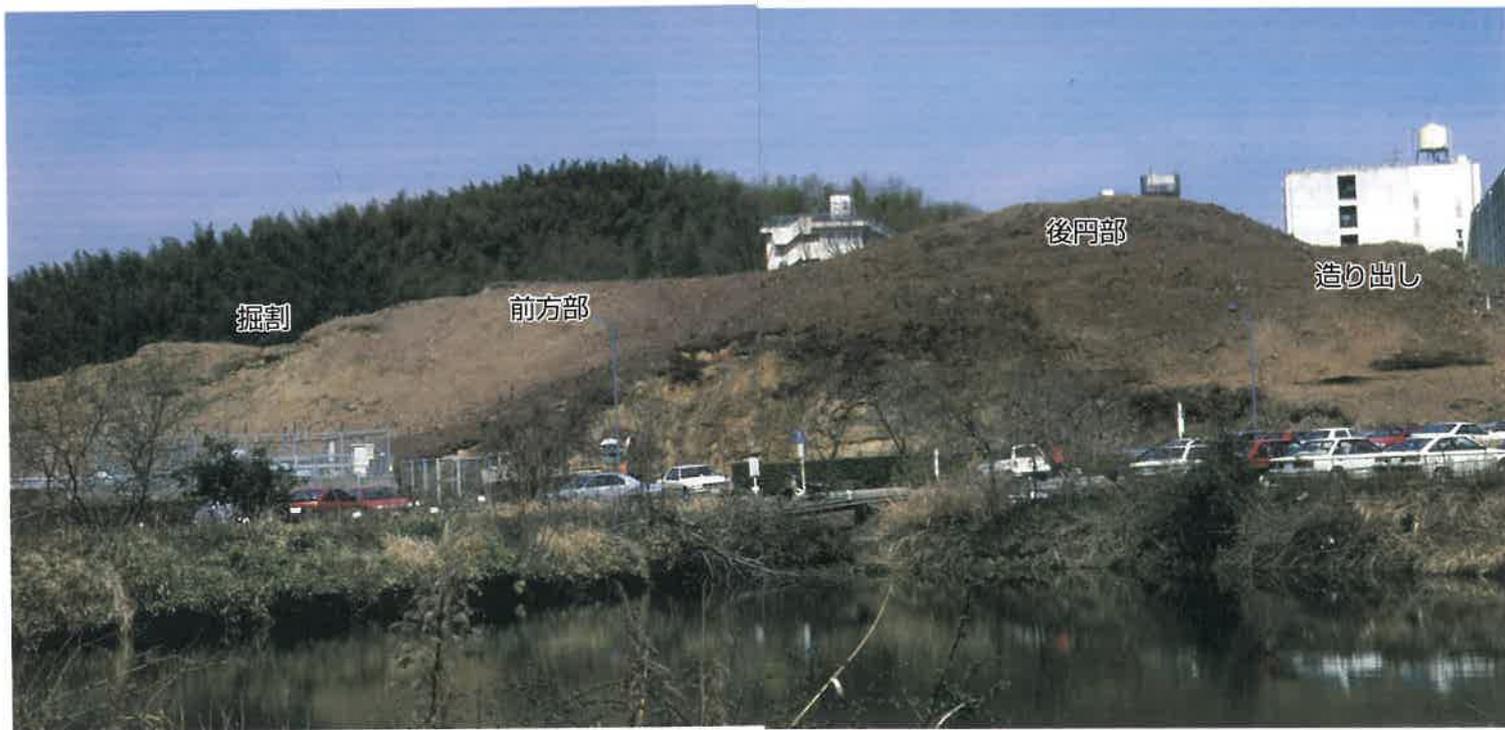
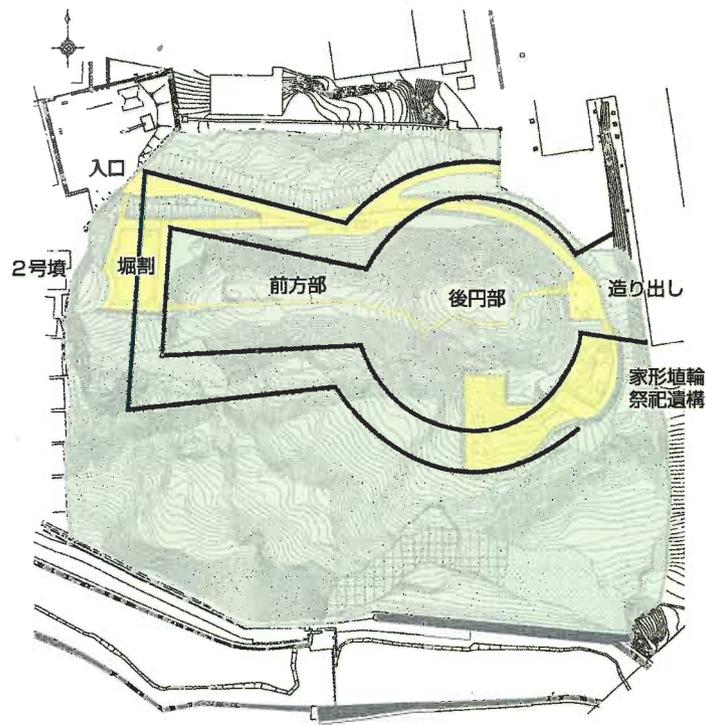


2010

天理市教育委員会

わに氏の里・赤土山古墳

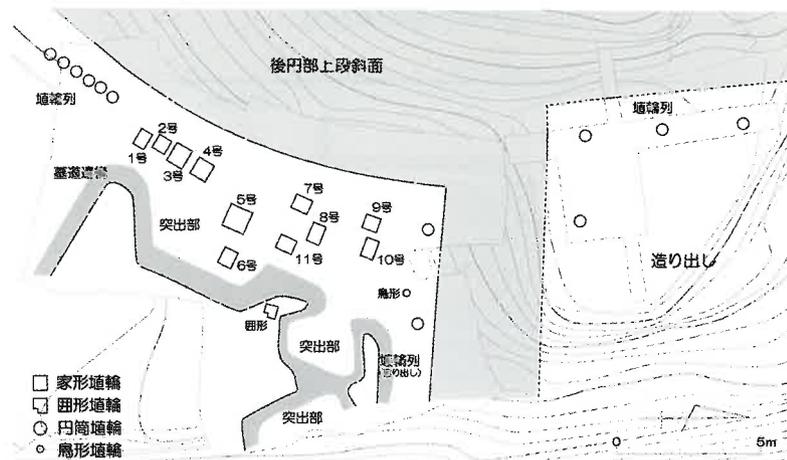
天理市の北部、櫛本町、和爾町の周辺は、古代豪族わに氏の本拠地だと考えられています。日本書紀や古事記の記載には、大和政権と関わり優れた軍事力をもつ集団であったことがうかがえます。赤土山古墳は、現存長106.5mの2段築成による大型前方後円墳で、丘陵上に立地し周濠はなく、古墳の両端には掘割が区画されています。葺石と埴輪列を施し、後円部の先端には造り出しを伴います。築造年代は4世紀後半と推定され、わに氏に関係する有力者の墓とされます。





家形埴輪祭祀遺構

窓をもつ住居、窓のない倉庫、周囲に壁をもつ建物、高床の建物、切妻造りや入母屋造りの屋根など様々な家形埴輪があり、その周囲には突出部や入り組んだ谷間などの地形を葺石で表現しています。ジオラマ的なこの遺構は、古代豪族の居館を連想させ、情景を描く古墳祭祀として興味深いものです。





倉庫と住居 (手前11号・向う7号)



水の祭祀場・囿形埴輪



鳥形埴輪

埴輪の番号	家形埴輪の種類・特徴
1号 家形埴輪	柱間が2間の大形、屋根は切妻
2号 家形埴輪	柱間が2間の窓付小形、屋根は切妻
3号 家形埴輪	柱間が2間の大形、屋根は切妻
4号 家形埴輪	柱間が2間の高床式、屋根は切妻
5号 家形埴輪	辺80cm程の大形、底部のみ出土
6号 家形埴輪	柱間が2間の窓付大形、屋根は切妻
7号 家形埴輪	柱間が2間の大形倉庫、屋根は切妻
8号 家形埴輪	柱間が3間の窓付大形、屋根は切妻
9号 家形埴輪	柱間が2間の大形倉庫、屋根は切妻
10号 家形埴輪	柱間が3間の窓付大形、屋根は入母屋
11号 家形埴輪	柱間が3間の大形、屋根は入母屋
囿形埴輪	柱間が2間の小形、周壁には入口有

